

# 道路人ファイル

道路に縁のある方々をご紹介します。

## 道路建設業の健全な発展と活性化に努める

一般社団法人日本道路建設業協会会長 西田 義則 氏



### ●現在のポストに対する感想や抱負

本年5月から一般社団法人日本道路建設業協会の会長に選任され、重責と共にやりがいを感じています。

当協会の2018年の活動方針は、①i-Construction導入促進の支援、②働き方改革の実現、③コンプライアンス教育（業界の信頼回復）、④舗装技術等の広報活動の4点です。具体的には、i-Constructionの推進に取り組んでいるi-Pavement推進本部による「会員企業の生産性向上、品質向上、現場従業員の処遇改善」等を目指した活動。働き方改革の実現に向けては、協会として「新3K（給与・休暇・希望）」を掲げ、長時間の労働削減、週休2日の実現を図る等で担い手確保に努めていきます。

合わせて、道路建設業の魅力や社会貢献、さらには日本が誇る技術を世界に発信する等、国内外に広く知らしめ、当業界のイメージアップに積極的に取り組んでいく所存です。関係者の皆様のご支援・ご協力をよりしくお願い申し上げます。

### ●いままで最も印象に残っている仕事・地域

20代の現場作業時代、大阪地下鉄のトンネル工事で貴重な体験をしました。シールドマシンを操作し、到達部の穴に収めるのですが、この作業が実に難しく、見事に収まったときは本当に感動しました。あの歓びと感動、充実感等を、若い社員たちにぜひ味わってほしいと願っています。

もう一点は、東日本大震災の福島原発事故時の道路啓開です。同事故の復旧作業にあたって自衛隊や消防関係者が現地に乗り込むために、壊滅状態の道路を啓開するよう当社等に要請が入りました。何が起きるかわからない状況下での志願者呼びかけとあって迷いましたが、何と数十名の社員と協力会社の方々が危機感を共有し、挙手してくれたのです。万全の放射線対策を講じて取り組んだ道路啓開を通じ、復旧作業に貢献できた喜びを、参加したメンバー共々分かち合いました。

### ●座右の銘

聖徳太子が制定した十七条憲法の第一条に出てくる「和を以て貴しとなす」の言葉が好きで、よく使っています。この「和」については、「和気藹々」等と解釈されることもあります。本来は「皆で意見を出し合い戦わせ合ってまとめていこう」というのが真の意味だと聞き及びます。

また、信条として「人事を尽くして天命を待つ」、モットーとして「ものづくりの業界」のため「現場第一主義」を胸に刻み、精進を続けています。

### ●最近関心をもっていること

道建協会長としての関心事は、「担い手の確保」に尽きます。舗装工事業は行程の最後のしわ寄せがくるため労働条件がきつくなり、かつての3Kイメージが残っている面があり、決して良い環境下にあるとはいえません。この現状を打破し、道路建設業を「人が集う産業」としていくためには、負のイメージを払拭し、希望に満ちた産業への取り組みと発信が欠かせません。

そのためには冒頭でも触れたように、「新3K」の具現化に向けて、長時間労働防止と週休二日等の実現により、若い担い手を確保することが重要です。それには我々の自助努力も必要ですが、合わせて発注者に対して適切な工期設定や現場条件の明示と理解等を求めることが重要となります。

この点を改革しないと道路建設業は今後成り立ちにくいのでは、といった危惧があります。道路建設業の健全な発展と活性化を図るために、尽力していきたいと決意を新たにしています。

【略歴】1978年、金沢大学工学部土木工学科卒、大成建設(株)入社。常務執行役員土木本部副本部長兼土木部長等を経て、2016年大成ロテック(株)代表取締役社長、2018年5月(一社)日本道路建設業協会会長に就任。

### 募集

「読者の声」欄への投稿を歓迎します。なお、掲載に際して、名前の記載を原則とさせていただきます。応募原稿は900字程度で、お名前、所属、連絡先を明記してください。掲載分には薄謝を進呈いたします。

Eメール: [voice@road.or.jp](mailto:voice@road.or.jp)宛に送信してください。

郵 送: 〒100-8955 東京都千代田区霞が関3-3-1 尚友会館7階  
公益社団法人日本道路協会「道路」編集部